

投資情報

ウィークリー

2024/04/22



もっと豊かに、ヒューマンライフ。

三津井証券株式会社

商号等 / 三津井証券株式会社

金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第14号

加入協会 / 日本証券業協会

本レポート末尾の「投資にあたっての注意事項」をお読み下さい。

投資情報ウィークリー

2024年4月22日号
調査情報部

相場見通し

■先週の日本株

足元の米国経済指標は、製造業の景況感、雇用に加えて、個人消費（小売売上高など）が市場予想以上に底堅く、パウエルFRB議長が利下げに慎重な発言をしたこともあり、米金利の先高感が強まった。10年債利回りは一時4.6%台に、2年債は5%に迫るまで金利が上昇した。また、ASMLHDの1~3月期の新規受注が市場予想を下回ったこと、TSMCが2024年の半導体市場の見通しを引き下げたことも嫌気され、先週（18日まで）の米国株市場はS&P500が5日続落した。中でも大型ハイテク株や半導体関連株が下落するなど、相場の地合いは悪化した。日本株も半導体関連株や値がさ株などを中心に売られた。週末にはイスラエルによるイラン本土への攻撃が伝えられ、債券、原油、金が買われるなどリスクムードが強まり、日経平均は37000円を一時割り込んだ。

■今週の見通し

今週は、1ドル154円台に入るなどドル高・円安が一段と進行しており、米1~3月期のGDP、米3月PCE価格指数や、25~26日の日銀政策決定会合、26日の日銀展望レポートが注目される。植田総裁は先週のG20で、円安の影響（物価上昇など）が大きく出れば金融政策の変更もあり得ると述べている。また、3月期企業の決算発表も本格化する。セブン&アイ・HD、しまむら、ファーストリテイなど主要小売業の決算発表後の株価は、総じて市場の期待に応えられずに冴えない動きとなっているが、23日のニデックからスタートする主要製造業の前第4四半期実績と今期の見通しに期待したい。というのは、①国際通貨基金（IMF）が24年の経済成長率見通しを、世界で従来の3.1%から3.2%に、米国で同2.1%から2.7%へ上方修正したこと、②半導体など在庫調整が進展していること、③日本で緩やかなインフレが続く見通しの中、企業のガバナンス改革と成長投資が今後期待されること（新たな中期経営計画を発表する企業に改めて注目したい）、④企業の改革を政府が後押ししていること、⑤インバウンド需要の更なる拡大（中国からの客数拡大余地など）が見込まれるためだ。加えて、不確実性の高まりから市場期待が低下している（半導体関連中心に）他、直近の株価下落でバリュエーション面から再び魅力的になってきたため。勿論、中東情勢の緊迫化、原油上昇による一段の物価上昇と実質賃金のマイナスが続くリスク、人件費などのコスト増、価格転嫁の限界などに注意したいが・・・。

テクニカル面では、日経平均は19日に大幅安（1011円安）、終値では37068円、3月22日高値（40888円）からの下落率は9.34%（ザラ場安値では10%超）、下落幅は3820円にも達した。中東での報復の連鎖が懸念されたとはいえ、37000円台は需給の空白地帯で、またファーストリテイ、SBG、東京エレクトロ、アドバンテの4銘柄の下落の影響が大きい点を鑑みる必要があるが、26週MA（19日現在で35943円）や昨年10月4日の安値（30526円）から3月22日の高値までの上昇幅の半値押し水準（35707円）が下値の目途となりそうだ。（増田 克実）

日経平均（週足:円）



主な決算発表予定 ①

銘柄	発表日	通期営業利益予想		通期純利益予想		来期予想(QC)	
		(日経)	(QC)	(日経)	(QC)	営業利益	税引利益
4684 オービック	24/04/23	70,000	71,400	54,500	56,579	79,723	62,795
4733 OBC	24/04/23	16,860	18,352	12,440	13,512	21,180	15,515
6594 ニデック	24/04/23	180,000	184,618	135,000	140,921	242,682	180,272
1944 きんでん	24/04/24	37,100	41,340	28,500	32,000	46,200	34,620
6305 日立建機	24/04/24	171,000	173,163	88,000	94,752	173,743	102,953
6954 ファナック	24/04/24	132,200	137,173	122,600	125,540	151,136	137,782
3231 野村不HD	24/04/25	109,000	110,143	65,000	65,577	114,658	70,104
4063 信越化	24/04/25	700,000	735,309	520,000	545,026	828,611	604,643
4205 ゼオン	24/04/25	18,500	18,995	26,500	26,156	26,202	22,520
4307 野村総研	24/04/25	120,000	122,840	82,000	83,094	135,445	91,734
4503 アステラス	24/04/25	13,000	83,362	3,000	54,054	185,912	128,640
4568 第一三共	24/04/25	200,000	189,852	175,000	161,892	230,163	186,029
5344 MARUWA	24/04/25	20,350	20,413	15,000	14,848	25,300	17,885
6146 ディスコ	24/04/25	108,600	114,383	74,300	78,238	160,141	116,704
6504 富士電機	24/04/25	100,000	101,609	68,000	70,809	111,445	76,045
6702 富士通	24/04/25	250,000	239,182	208,000	199,745	341,902	257,500
6861 キーエンス	24/04/25	534,000	487,546	384,000	356,806	543,862	390,301
6967 新光電工	24/04/25	35,000	32,425	24,000	24,030	51,950	36,896
7276 小糸製	24/04/25	66,000	64,905	48,500	46,851	67,063	44,748
8601 大和	24/04/25	80,000	139,800	70,000	106,387	145,650	107,567
9531 東ガス	24/04/25	182,000	186,733	141,000	146,933	157,983	107,667
9533 邦ガス	24/04/25	34,000	30,000	25,000	25,000	23,000	20,000
1942 関電工	24/04/26	36,000	36,300	23,300	25,340	39,500	26,920
1959 九電工	24/04/26	35,500	37,660	26,500	28,111	43,172	31,849
1973 NESIC	24/04/26	24,000	24,780	14,000	15,260	28,900	18,020
2327 NSSOL	24/04/26	33,500	34,014	22,800	23,330	36,400	24,874
2413 エムスリー	24/04/26	75,000	72,987	50,000	49,545	81,742	54,917
2801 キッコマン	24/04/26	61,400	65,894	50,600	53,062	74,094	57,518
3116 トヨタ紡織	24/04/26	93,000	93,433	59,000	58,233	93,183	54,700
4204 積水化	24/04/26	95,000	95,167	75,000	75,433	105,333	76,533
4661 OLC	24/04/26	146,709	168,572	105,180	120,381	197,747	140,979
5332 TOTO	24/04/26	47,000	44,186	39,000	35,596	51,029	36,261
5333 ガイシ	24/04/26	62,000	64,920	39,000	42,996	73,100	50,538
6201 豊田織	24/04/26	200,000	208,450	225,000	230,113	256,763	267,638
6301 コマツ	24/04/26	548,000	592,964	340,000	381,532	587,582	377,909
6473 ジェイテクト	24/04/26	80,000	76,650	40,000	45,860	86,375	52,000
6501 日立	24/04/26	740,000	751,877	530,000	557,692	841,608	608,117
6503 三菱電	24/04/26	330,000	329,758	260,000	262,382	353,717	279,829
6526 ソシオネクス	24/04/26	31,500	32,700	22,500	23,980	34,480	25,680
6586 マキタ	24/04/26	59,000	61,463	39,500	40,975	76,413	52,450
6701 NEC	24/04/26	220,000	195,111	140,000	123,278	229,656	153,289
6724 エプソン	24/04/26	68,000	66,828	55,000	53,137	82,743	60,609
6762 TDK	24/04/26	170,000	174,071	120,000	125,802	219,229	160,243
6857 アドテスト	24/04/26	85,000	86,786	64,500	65,509	133,394	101,356
6902 デンソー	24/04/26	495,000	487,213	380,000	373,006	720,888	545,881

証券ジャパン調査情報部作成。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は4月17日現在。

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

主な決算発表予定 ②

銘柄	発表日	通期営業利益予想		通期純利益予想		来期予想(QC)	
		(日経)	(QC)	(日経)	(QC)	営業利益	税引利益
6923 スタンレー	24/04/26	35,000	34,916	25,500	22,389	52,000	36,300
6971 京セラ	24/04/26	95,000	105,636	100,000	111,761	125,955	130,910
6981 村田製	24/04/26	270,000	271,206	225,000	221,948	335,606	262,324
6988 日東電	24/04/26	140,000	144,200	100,000	103,675	159,254	115,290
7259 アイシン	24/04/26	150,000	153,833	90,000	97,417	245,775	159,725
7282 豊田合	24/04/26	70,000	71,044	51,000	51,476	72,267	48,178
8015 豊田通商	24/04/26	410,000	465,565	320,000	339,311	478,649	349,544
8604 野村	24/04/26			150,000	162,856		211,000
9009 京成	24/04/26	24,000	25,187	83,900	88,545	30,385	48,316
9202 ANAHD	24/04/26	190,000	201,000	130,000	138,144	195,680	127,144
9502 中部電	24/04/26	300,000	297,483	330,000	344,767	151,767	166,150
9504 中国電	24/04/26	173,000	179,567	122,000	124,033	100,433	64,600
9719 SCSK	24/04/26	56,500	57,610	39,500	40,268	62,740	44,031
9962 ミスミG	24/04/26	42,800	39,400	30,500	29,875	43,100	32,440
2127 日本M&A	24/04/30	17,000	15,934	11,000	10,551	17,571	11,780
3092 ZOZO	24/04/30	60,000	60,315	42,000	42,438	64,325	45,135
3635 コーテクHD	24/04/30	27,000	35,111	32,000	31,500	43,600	37,600
5334 特殊陶	24/04/30	110,000	112,633	81,000	83,394	119,000	86,035
5444 大和工	24/04/30	16,000	13,775	66,500	62,675	14,625	56,550
5938 LIXIL	24/04/30	28,000	26,571	11,000	8,491	44,771	26,288
8056 ビプロシー	24/04/30	34,000	34,686	23,500	23,857	38,357	26,307
8174 日ガス	24/04/30	18,700	18,650	11,000	11,200	19,800	13,775
8697 日本取引所	24/04/30	87,000	87,000	61,000	61,000	84,500	58,000
9001 東武	24/04/30	70,000	72,818	45,000	46,895	73,852	49,080
9020 JR東日本	24/04/30	310,000	310,857	165,000	167,044	348,500	202,498
9021 JR西日本	24/04/30	160,000	164,187	82,000	85,760	169,256	102,693
9022 JR東海	24/04/30	533,000	563,376	330,000	347,068	592,003	366,331
9044 南海電	24/04/30	29,400	31,433	23,100	23,724	35,183	22,619
9104 商船三井	24/04/30	93,000	103,038	235,000	238,375	108,163	214,238
9143 SGHD	24/04/30	88,500	89,698	60,000	60,967	103,827	71,760
9301 三菱倉	24/04/30	19,500	19,667	27,500	26,867	19,667	26,200
9501 東電HD	24/04/30	264,000	188,900	247,000	242,450	205,850	227,600
9503 関西電	24/04/30	530,000	555,757	290,000	311,343	374,757	278,243
9506 東北電	24/04/30	310,000	295,475	200,000	188,850	163,750	94,975
9508 九州電	24/04/30	220,000	215,740	150,000	145,420	129,000	77,500
2768 双日	24/05/01			100,000	101,100		106,322
4062 イビデン	24/05/01	45,000	48,654	28,500	33,755	60,862	42,563
7741 HOYA	24/05/01			166,000	170,944		194,499
8031 三井物	24/05/01			950,000	969,363		900,005
1878 大東建	24/05/02	103,000	103,633	73,000	74,517	119,283	86,068
8002 丸紅	24/05/02		307,666	450,000	464,693	310,225	478,144
8053 住友商	24/05/02			500,000	502,736		497,282
8058 三菱商	24/05/02			950,000	977,079		1,064,947
9201 JAL	24/05/02	140,000	162,000	90,000	98,100	154,000	98,800

証券ジャパン調査情報部作成。単位百万円。空欄はデータなし。

予定が変わることがあります。業績予想は4月17日現在。

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

投資のヒント

☆株価が月足の12カ月・24カ月、週足の13週・26週の全てのMAの上位にある主な銘柄群

日経平均の株価と移動平均線（以下 MA）の位置関係を見ると、長期トレンドを見る月足で上昇トレンド（株価>12カ月MA>24カ月MA）を維持しているものの、中期トレンドを見る週足では、先週に13週MAを割り込み、位置関係はピークアウト（13週MA>株価>26週MA）に移行してきた。一方、個別では、依然上昇トレンド銘柄が多数存在していることから、下表には、株価が月足の12カ月・24カ月、週足の13週・26週の計4本全ての上位に位置する主な上昇トレンド銘柄群を掲載した。PBR1倍割れ銘柄も散見され、決算発表時の株主還元策の発表期待を含め、注目したい。（野坂 晃一）

表. 日経平均採用で株価が月足の12カ月・24カ月、週足の13週・26週の全てのMAの上位にある主な銘柄群

コード 銘柄	株価(円)	予想PER(倍)	実績PBR(倍)	配当利回り(%)	経常利益伸び率(%)	信用倍率(倍)	5日カイ離率(%)	25日カイ離率(%)	13週カイ離率(%)	26週カイ離率(%)	12月カイ離率(%)	24月カイ離率(%)
1605 INPEX	2373	9	0.7	3.2	-16.8	3.88	-4.9	0.16	8.16	12.5	17.92	35.80
1802 大林組	1696	20.6	1.13	4.24	-21.6	4.28	-1.04	-5.7	5.07	17.37	23.71	43.56
2914 JT	4075	15.8	1.88	4.76	-0.3	11.71	-1.04	0.68	3.06	6.12	14.09	32.60
4063 信越化	6399	24.5	2.99	1.56	-25.5	9.4	-0.5	-1.86	1.11	10.11	20.76	45.59
4578 大塚HD	6194	13.4	1.4	1.93	131.3	16.36	-1.75	-1.63	3.06	7.69	10.99	23.03
4901 富士フイルム	3343	16.7	1.35	1.49	9.8	7.04	-2.42	-1.03	2.51	8.7	12.47	26.43
5019 出光興産	1022.5	7.8	0.77	3.12	-16	16.25	-2.55	-1.95	5.9	17.74	34.48	45.71
5020 ENEOS	721	8.9	0.7	3.05	55.4	8.08	-3.11	-1.28	6.13	14.6	23.43	34.88
5108 プリヂストーン	6711	12.7	1.37	3.12	19.3	0.98	-0.27	1.5	3.91	8.18	10.60	20.06
5802 住友電	2433.5	15.8	0.93	2.54	14.2	7.89	0.09	3.23	9.3	20.88	27.00	39.83
6098 リクルート	6312	27.4	4.98	0.36	16.6	1.98	-3.63	-4.32	0.12	7.51	17.60	31.56
6146 ディスコ	54130	78.9	15.92	0.47	-2.9	3.01	-0.33	-0.58	9.34	32.28	54.99	127.82
6301 コマツ	4416	12.2	1.47	3.26	6.8	7.53	-1.11	-1.13	1.82	9.47	11.13	25.61
6361 荏原	13300	20.1	2.99	1.72	0.4	4.68	-1.65	-1.11	9.69	32.11	49.91	87.26
6501 日立	13755	24	2.41	1.12	-8.5	2.32	-3.02	0.16	6.07	19	29.82	57.74
6503 三菱電	2493.5	20	1.52	2	21.5	3.65	-1.37	-0.27	4.9	13.72	20.07	42.04
6504 富士電機	10035	21	2.61	1.2	12.7	1.79	-1.13	0.55	8.61	30.51	38.43	56.83
6701 NEC	10955	20.8	1.71	1.09	25.2	2.38	-2.32	-1.11	5.08	17.86	28.66	62.75
6702 富士通	2470.5	21.8	2.83	1.05	-27.4	1.23	-1.18	-0.51	3.81	11.37	20.44	29.33
6724 エプソン	2645.5	15.9	1.13	2.79	-25.8	0.29	-1.02	0.44	6.41	14.28	15.08	22.68
6902 デンソー	2875.5	22	1.69	1.8	19.9	2.3	-1.46	0.13	5.66	15.24	17.29	34.34
6988 日東電	14120	19.9	2.11	1.84	-4.7	0.43	-1.09	0.08	3.53	17.21	25.40	43.47
7011 三菱重	1384	24.4	2.42	1.15	51.7	11.34	0.02	2.5	13.9	35.05	50.63	94.36
7203 トヨタ	3602	10.7	1.49	1.72	69	4.84	-2.02	-2.68	2.84	15.4	27.94	50.34
7267 ホンダ	1785.5	8.9	0.71	3.24	64.3	17.19	-2.18	-3.55	0.31	7.72	11.88	31.46
7269 スズキ	1758	14.1	1.49	1.56	17.6	10.77	-2.12	1.58	4.53	9.73	16.65	32.44
7270 SUBARU	3461	7.6	1.09	2.77	76	4.16	-1.75	0.76	5.16	15.78	20.12	34.94
7272 ヤマハ発	1415.5	7.9	1.24	3.53	-	18.73	0.35	0.69	1.75	6.04	7.55	21.66
7751 キヤノン	4386	14.2	1.29	3.41	15.2	9.79	-1.14	-1.58	1.89	9.69	13.34	25.82
8001 伊藤忠	6632	11.9	1.86	2.41	-0.6	8.21	-1.22	0.18	0.07	5.78	13.24	34.68
8002 丸紅	2647	9.8	1.39	3.13	-14.1	6.37	-0.85	1.24	4.54	9.27	10.81	36.32
8031 三井物	7164	11.2	1.51	2.37	-10.4	2.59	-1.36	1.35	8.07	18.43	24.28	53.79
8035 東エレク	36740	50	10.87	0.99	-28	2.54	-3.55	-4.41	3.31	23.65	40.76	78.89
8053 住友商	3757	9.1	1.08	3.32	-11.5	7.93	-0.87	1.96	5.27	11.94	18.17	42.57
8058 三菱商	3467	14.9	1.62	2.01	-16.7	6.65	-1.79	-0.74	8.36	25.22	34.38	71.58
8306 三菱UFJ	1517	13.6	0.94	2.7	81.2	18.54	-0.34	-1.35	1.08	10.13	18.90	46.52
8309 三井住友トラ	3221	27.2	0.77	3.41	-0.3	40.83	-0.8	-1.09	2.78	9.05	12.97	26.97
8316 三井住友FG	8613	12.3	0.82	3.13	-0.1	13.98	-1.43	-2.13	2.62	10.66	18.14	43.18
8411 みずほFG	2970.5	11.7	0.76	3.36	8.9	14.55	-0.66	-0.58	3.23	10.48	16.50	38.24
8591 オリックス	3152	11	0.97	2.98	8.9	2.18	-1.56	-3	0.78	8.13	12.04	24.26
8697 日本取引所	3896	33.2	6.31	2.33	27.6	1.66	-2.56	-4.46	1.07	13.19	27.21	53.43
8725 MS&AD	2675	12.1	1.09	2.99	77.4	11.31	-1.02	-0.23	8.08	23.39	33.36	57.61
8750 第一生命HD	3504	12.1	1.11	3.02	13.2	5.35	-1.55	-6.09	0.04	6.39	13.27	23.57
8766 東京海上	4672	13.7	2.08	2.58	62.7	4.53	-0.79	-0.57	5.88	17.2	25.67	46.19
8801 三井不	1614	20.5	1.47	1.69	-0.1	9.94	-1.69	1.13	10.76	23.36	36.15	54.53
8802 豊地所	2818.5	21.4	1.57	1.41	-14.6	4.22	-3.61	1.76	14.31	26.75	37.00	45.61
8830 住友不	5538	14.9	1.32	1.06	5.6	2.83	-3.36	1.33	10.44	20.2	30.53	45.89
9501 東電HD	1017	6.5	0.77	-	-	2.5	-2.82	6.74	17.55	28.96	44.47	69.72
9502 中部電	1981.5	4.5	0.58	2.77	529.3	5.64	-1.47	-0.36	1.93	4.2	6.72	23.00
9503 関西電	2323	7.1	0.95	2.15	-	3	-1.95	4.71	11.81	15.41	17.86	42.88
9531 東ガス	3802	10.7	0.91	1.84	-53.5	1.13	-0.33	6.11	10.23	11.61	13.66	27.56
9532 大ガス	3233	11.3	0.83	2.24	124.7	1.99	-2.83	-4.16	0.45	5.58	18.12	29.40

※指標は4/18時点、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

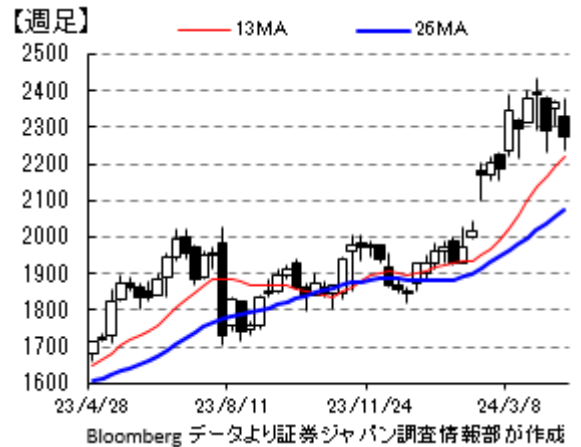
4088 エア・ウォーター

産業用ガスの大手で、医療用酸素ではトップ。鉄鋼、半導体向けに強く、M&A で事業領域を拡大中。

24年3月期第3四半期(4~12月)業績は売上収益が前年同期比 2.7%増の 7446.6 億円、営業利益が同 20.3%増の 498.3 億円となり、第3四半期では過去最高の営業利益となった。また、四半期ベースの営業利益は4~6月期の 113 億円から7~9月期に 171 億円、10~12月期は 215 億円と業績拡大ペースが加速している。

主力のデジタル&インダストリー事業は半導体製造装置向けシール材が減少したものの、産業ガスの価格改定効果や炭酸ガスの販売増で、好調だったほか、アグリ&フーズ事業もミネラルウォーターや果実系飲料の受託増に加え、ハム・ソーセージの価格改定効果などで、堅調に推移した。また、その他事業に含まれる国内外のエンジニアリング事業では北米の高出力 UPS（無停電電源装置）が好調に推移した。一方、エネルギーソリューション事業は LP ガスの販売価格下落が影響したほか、セルフ&セーフティー事業も新型コロナ関連需要（在宅酸素濃縮装置や衛生材料等の感染管理製品）の減少が響いた。通期計画は据え置かれているが、営業利益の第3四半期までの進捗率は 69.2%で、前年同期の 66.6%を上回って推移している。

続く 25年3月期は産業ガスで北米の新規連結効果が寄与するほか、国内の半導体向け需要の回復も予想される。半導体向け希少ガス（ヘリウム・アルゴン）については、大手半導体メーカーの生産増強に合わせた安定供給を目指して、生産設備の新增設を進める。また、高出力 UPS の需要も堅調が続く見通し。加えて、輸送コストの上昇が見込まれる中、この4月から再度価格改定を進めており、今期も増収増益基調が続くとみられる。決算発表は5月9日予定。



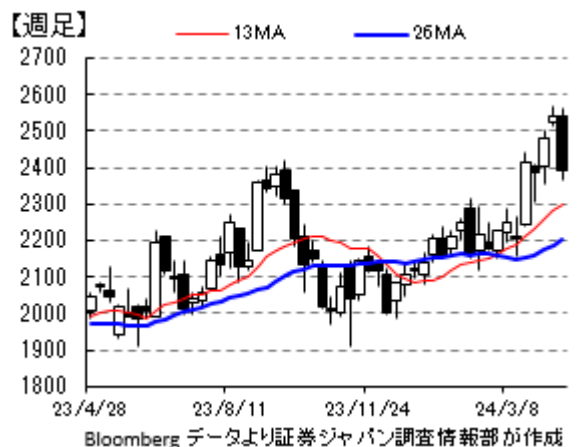
[決算説明資料](#)



6326 クボタ

農業機械、鋳鉄管で国内首位。小型建機、エンジンが主力。

23年12月期業績は売上収益が前年比 12.8%増の 3兆 207.1 億円、営業利益が同 53.4%増の 3288.2 億円となった。主力の機械部門は、国内の堅調に加え、北米が底堅い住宅市場や政府のインフラ開発需要を背景に建機が好調だった。欧州も建機やトラクタの販売が増加した。アジアではタイで干ばつの影響があったものの、インドは畑作市場の堅調や前期連結子会社化した EKL 社が寄与した。セグメント収益は値上げ効果や円安の影響により、同 13.3%増収、53.0%増益となった。水・環境部門ではパイプシステムの合成管が集合住宅向けなどで堅調だったほか、産業機械が海外のプラン



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

ト新設増に支えられ好調だった。また、環境は排水処理が国内工場向けに伸び、セグメント収益は同11.3%増収、77.1%増益と健闘した。

続く24年12月期は売上高3兆500億円(前期比1.0%増)、営業利益3200億円(同2.7%減)を見込む。為替前提は1ドル140円、1ユーロ153円。国内は機械部門が振るわないものの、水・環境部門がパイプシステムの増加でけん引する見通し。海外は建機需要の底堅さに加え、農機がインド中心に堅調に推移しそうだ。利益面では値上げ効果が続く一方、固定費や原材料費の増加で減益を見込んでいる。同社は株主還元の中期目標として、総還元性向40%以上を確保し、50%を目指すほか、取得した自己株式については即消却を推進する計画だ。なお、同社は17日、1700万株(発行済み株式の1.4%)、300億円を上限とする自社株買いを発表した。決算発表は5月10日予定。

[決算説明資料](#)



(大谷 正之)

5332 TOTO

2021年4月に21年度から始まる10カ年の長期経営計画として「新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030」が策定され、2030年に目指す姿として、売上規模9000億円以上、営業利益率10%以上、海外売上比率50%以上が掲げられた。その最初の3カ年のステップとして「WILL2030 STAGE1」が策定され、23年度の目標として売上高6900億円、営業利益600億円、営業利益率8.7%、ROA 9.0%、ROE 10.2%が定められた。ただし、23年度の業績見込みは売上高7200億円、営業利益470億円と、営業利益が未達となる模様。第3四半期は国内は堅調であるものの、海外では中国が不動産市況低迷による売上高減や在庫調整など、アジアが市況悪化影響および外部調達コスト増、在庫調整が響いた。ただし、米州事業は市況低迷の中、ウォシュレットは好調な伸びを見せた。

今後の見通しとして、中国の不動産市況の低迷は24年度以降も長期化する見通しであり、中長期視点の取り組みを強化しながら、成長市場から成熟市場へと変わりつつあることからリモデル需要も掘り起こしていく方針。米州事業では、代理店ショールームにおけるウォシュレット体験など価値伝達の強化、SNS等を活用したウォシュレット認知拡大と商品価値伝達、商品展示店舗数の拡大など、ウォシュレットを中心に競合他社との差別化を図り、市況に左右されない成長を目指すとしている。

決算発表予定日は4月26日。合わせて「WILL2030 STAGE2」が公表されよう。

[IR資料](#)



参考銘柄

4004 レゾナックHD

上期（1-6月）の営業利益は50億円の赤字を見込むとしていたが、140億円の黒字に上方修正し、通期計画も280億円から470億円に増額した。想定より円安基調で推移していることに加え、半導体材料やHDメディアの需要回復が期初の想定以上に進んでいること、足元のナフサ価格の上昇等を反映したことなどによる。セグメント別では半導体・電子材料が120億円の上方修正とウエイトが高い。尚、通期計画は上期修正分のみでの反映で、下期分については見直しを行っていない。

3月に、AI半導体などの高性能半導体向け材料の生産能力の拡大計画を発表。およそ150億円を投じて今年度以降順次、絶縁接着フィルム「NCF」、放熱シート「TIM」を増産し、従来の3.5倍、最終的には5倍までの拡大を目指す（製品の詳細は、投資情報ウィークリー4月8日号を参照）。

決算発表予定日は5月15日。

（ご参考）2024年12月期 連結業績予想 セグメント別売上高、営業利益

（単位：百万円）

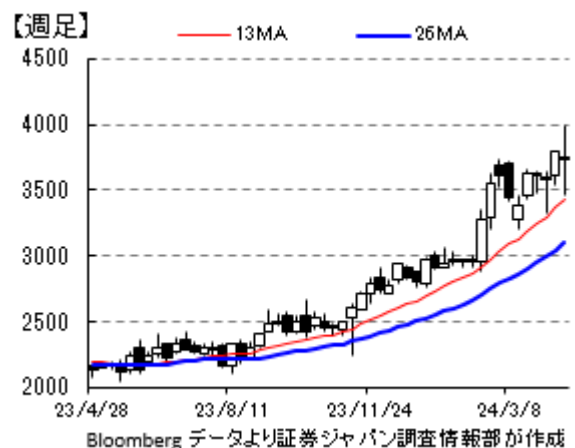
セグメント		2024年12月期 連結業績予想数値					
		第2四半期（1～6月）			通期（1～12月）		
		前回予想 '24.2.14発表	今回予想 '24.4.16発表	増減	前回予想 '24.2.14発表	今回予想 '24.4.16発表	増減
半導体・ 電子材料	売上高	180,000	200,000	20,000	390,000	410,000	20,000
	営業利益	1,000	13,000	12,000	19,000	31,000	12,000
モビリティ	売上高	105,000	105,000	0	210,000	210,000	0
	営業利益	1,000	1,000	0	7,000	7,000	0
イノベーション 材料	売上高	45,000	50,000	5,000	90,000	95,000	5,000
	営業利益	4,000	5,000	1,000	8,000	9,000	1,000
ケミカル	売上高	250,000	260,000	10,000	525,000	535,000	10,000
	営業利益	△3,000	0	3,000	10,000	13,000	3,000
その他・ 調整額	売上高	60,000	55,000	△5,000	115,000	110,000	△5,000
	営業利益	△8,000	△5,000	3,000	△16,000	△13,000	3,000
計	売上高	640,000	670,000	30,000	1,330,000	1,360,000	30,000
	営業利益	△5,000	14,000	19,000	28,000	47,000	19,000

2024年4月16日 業績予想の修正に関するお知らせより

[ニュース](#)



[IR資料](#)



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

4901 富士フイルムHD

中期経営計画「VISION2030」を発表。26年度までの3年間のバイオ CDMO・半導体材料への積極投資により、2027年度以降にそのリターンを創出し、2030年度の全社営業利益率15%を目指す。投資額は前中計 VISION2023 を上回る1.9兆円を見込み、内、1.6兆円を「新規/次世代」「成長」事業に集中投入する。

株主還元方針は、配当性向30%を目安に配当による株主還元を基本とし、安定的且つ継続的な配当を実施するものの、キャッシュフローや株価の状況等を総合的に勘案して自己株式取得についても検討・実施を行うとしている。

決算発表予定日は5月9日。

経営目標(全社財務目標)

(単位:億円)	2024年3月期 (2023年度予想) 2024/4/17公表	2025年3月期 (2024年度)	対前年	VISION2030より			
				2027年3月期 (2026年度)	2031年3月期 (2030年度) 方向性		
収益性	売上高	29,600	31,000	+4.7%	34,500 +5.2%	4兆円	
	営業利益	2,770	3,000	+8.3%	3,600 +9.1%	OPM15%以上	
	税金等調整前当期純利益	3,100	3,100	-	3,600 +5.1%		
	当社株主帰属当期純利益	2,400	2,400	-	2,700 +4.0%		
	EPS	199.33円	199.33円	-	224.24円		
資本効率	RDE	8.2%	7.8%	-0.4pt	8.1%	10%以上	
	ROIC	5.6%	5.4%	-0.2pt	5.8%	9%以上	
	CCC	122日	119日	3日減	112日		
財務健全性	株主資本比率	65.8%	61.9%	-3.9pt	64.1%		
	D/Eレシオ	0.16	0.28	+0.12	0.24		
株主還元	DPS	* 50円	60円	+10円	配当性向30%を目安		
	為替(前中平均)	米ドル(USD)	145円	140円	5円高	140円	
		ユーロ(EUR)	157円	150円	7円高	150円	

* DPS(1株あたり配当金)について
当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、2024年3月期のDPSは、株式分割後に換算した値を表示しております。

経営目標(セグメント別売上高・営業利益)

(単位:億円)	2024年3月期 (2023年度予想) 2024/4/17公表	2025年3月期 (2024年度)	対前年	VISION2030より		
				2027年3月期 (2026年度)	2031年3月期 (2030年度) 方向性	
ヘルスケア	売上高	9,750	10,100	+3.6%	12,000 +7.2%	約20%
	営業利益	970	1,120	+15.5%	1,400 +13.0%	
エレクトロニクス	売上高	3,600	4,100	+13.9%	4,700 +9.3%	10%台後半
	営業利益	450	570	+26.7%	700 +15.9%	
ビジネスイノベーション	売上高	11,570	12,000	+3.7%	12,750 +3.3%	10%以上
	営業利益	690	730	+5.8%	900 +9.3%	
イメージング	売上高	4,680	4,800	+2.6%	5,050 +2.6%	20%以上
	営業利益	1,020	1,000	-2.0%	1,050 +1.0%	
全社/連結調整	売上高	-	-	-	-	
	営業利益	-360	-420	-60億円	-450	
連結合計	売上高	29,600	31,000	+4.7%	34,500 +5.2%	15%以上
	営業利益	2,770	3,000	+8.3%	3,600 +9.1%	

* グラフィックコミュニケーション事業を「エレクトロニクス」セグメントから「ビジネスイノベーション」セグメントに組み替えて表示しています。本区分変更にあわせ、2024年3月期(FY2023)の情報をリセットしています。(旧マテリアルズ)

中期経営計画



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

4182 三菱ガス化学

2024年3月期の営業利益は前年比6.2%減の460億円を見込む。メタキシレンジアミン、芳香族アルデヒドの販売数量減少やMMA系製品の採算悪化等が見込まれるものの、ポリカーボネートやエレクトロニクスケミカルズの海外生産拠点における採算改善や、光学樹脂ポリマーの販売数量上振れなどを見込む。

4月に北米拠点の超純過酸化水素・超純アンモニア水製造工場増設を発表。5G、IoT、クラウド、AI、車載などの半導体用途拡大により、製造工程における洗浄剤・エッチング剤・研磨剤としてより高品質な薬液要求の高まりから、連結子会社MGC Pure Chemicals America テキサス工場の増設を行う。25年6月稼働を予定し、生産能力を超純過酸化水素は5割増、超純アンモニア水は6割増に引き上げる。国際協力銀行（JBIC）が横浜銀行と百五銀行との協調融資により総額61百万ドルを融資する。

3月15日、同社が製造する機能性食品「BioPQQ®」（バイオピーキューキュー®）に、老化に伴う低栄養状態を改善し、筋萎縮および筋力の低下を抑制する効果を見いだしたと発表。ピロロキノリンキノン（PQQ）は、1979年に酸化還元酵素の補酵素として微生物から同定された水溶性キノン化合物であり、同社はPQQの水溶性塩としてピロロキノリンキノンニナトリウム塩を2008年に食品として開発、健康食品素材として米国FDA（食品医薬品局）に新規健康食品素材NDIとして使用が認められた。同食品はミトコンドリアの働きを助けるとしている。14年に厚生労働省の認可を受け、18年に欧州食品安全機関EFSAより食品素材としての流通を認めるNovel Food（新規食品）の指定を受けた。BioPQQ®はサプリメント原料として、アメリカ・日本・EU諸国で販売されている。

決算発表予定日は5月10日。

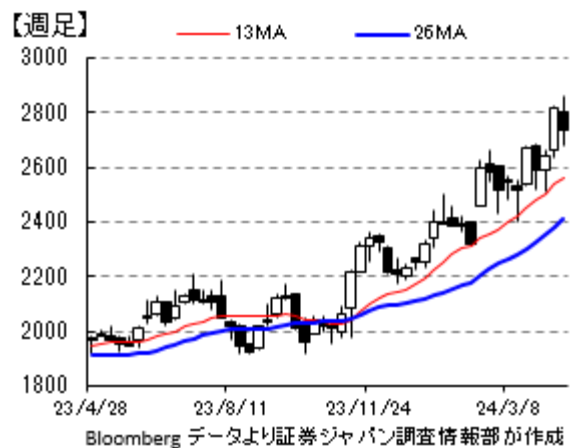
[IR資料](#)



[PQQ®について](#)



BioPQQ® HP



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

参考銘柄

3762 テクマトリックス

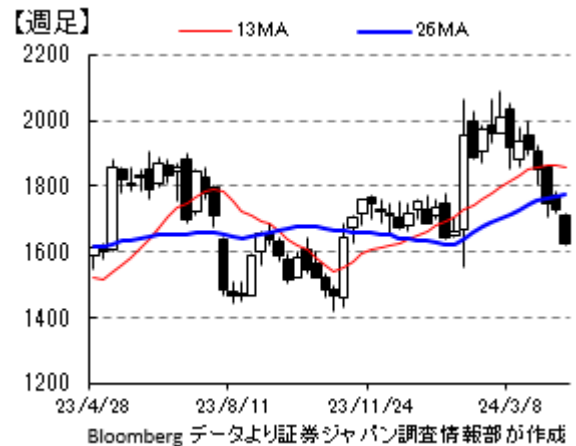
インフラ構築とアプリサービスがメインで、子会社の PSP が医療クラウド「NOBORI」などを手掛ける。NOBORI は、提携医療機関から提供された画像や検査結果、薬などの医療情報をスマホで見ることができるサービス。救急時や災害時・旅行・転居等により、他の医療機関で診察を受ける場合にも、継続性のある医療サービスを受けることや、処方されている薬の情報がいつでも確認できるのが利点。

2024 年 3 月期の営業利益は前年比 4%増の 53 億円を見込む。セグメント別では情報基盤事業が前年比 8.8%増の 34 億円、アプリケーション・サービス事業が黒字転嫁して 5.2 億円、医療システム事業が 69%増の 13.8 億円。

4 月 4 日、PSP は、キヤノンメディカルシステムズおよびエムスリーAI と、医療 AI を活用したヘルスケア IT 事業の協業において業務提携することを発表。提携により、PSP とエムスリーAI が共同で推進している AI プラットフォーム「NOBORI PAL AI」をキヤノンメディカルシステムズと販売連携する。キヤノンメディカルシステムズの「AI 解析技術」や「3D 処理技術」のライセンスを、PSP が有する「DICOM ビューアソフトウェア」にて提供することで、画像診断における読影品質の向上と効率化を目指す。

決算発表予定日は 5 月 9 日。

[IR 資料](#)

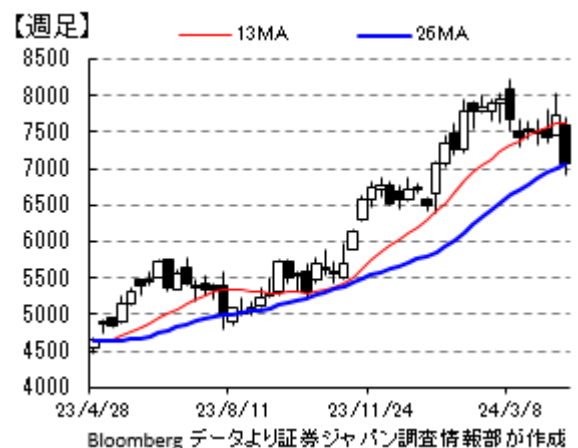


6762 TDK

2024 年 3 月期の営業利益は前年比 0.7%増の 1700 億円を見込む。第 3 四半期時に中国スマホ市場で需要が回復したため小型二次電池の販売が堅調に推移し、従来の見通しから 200 億円を上方修正した。第 4 四半期のセグメント別売上高では、センサ応用製品、エナジー応用製品が前四半期比で伸び悩むものの、受動部品、磁気応用製品が上伸を見込むとした。為替レートは対米ドル 145 円、対ユーロ 156 円を想定しており、着地は目標を上回る期待が高い。

決算発表予定日は 4 月 26 日。

[IR 資料](#)



(東 瑞輝)

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

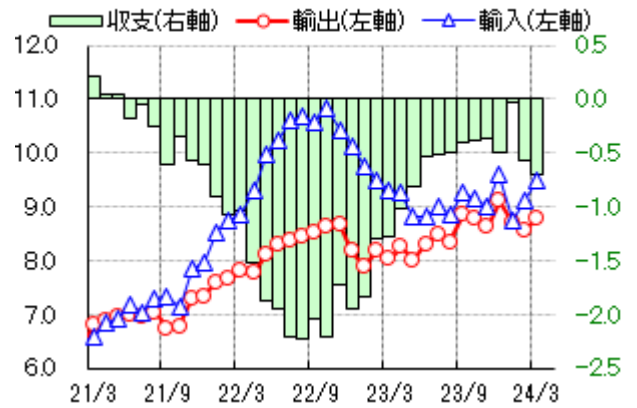
＜国内スケジュール＞

- 4月22日(月)
 - 3月コンビニ売上高(14:00、フランチャイズチェーン協)
 - 3月粗鋼生産(14:00、鉄連)
- 4月23日(火)
 - 3月半導体製造装置販売高(15:40、SEAJ)
 - 上場 レジル<176A>東証グロース
- 4月24日(水)
 - 3月企業向けサービス価格(8:50、日銀)
- 4月25日(木)
 - 日銀金融政策決定会合(~26日)
 - 3月外食売上高(14:00、フードサービス協)
 - 3月百貨店売上高(14:30、百貨店協)
 - 上場 コージンバイオ<177A>東証グロース
- 4月26日(金)
 - 日銀展望レポート
 - 4月東京都区部消費者物価
- 4月28日(日)
 - 衆院3補選開票

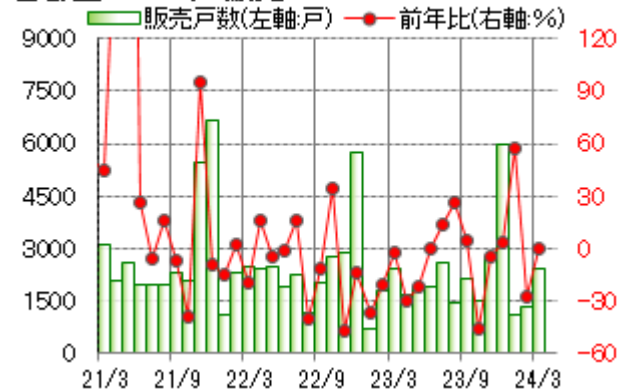
＜国内決算＞

- 4月23日(火)
 - 15:00~ オービック<4684>、ニデック<6594>
 - 【1Q】シマノ<7309>
- 4月24日(水)
 - 15:00~ 日立建機<6305>、ファナック<6954>
 - 【1Q】キヤノン<7751>
 - 【2Q】サイバエジェ<4751>
 - 17:00~ 【1Q】中外薬<4519>
- 4月25日(木)
 - 9:00~ 【1Q】ルネサス<6723>
 - 13:00~ 第一三共<4568>
 - 14:00~ 東京ガス<9531>
 - 15:00~ 信越化<4063>、NRI<4307>、アステラス薬<4503>、富士電機<6504>、富士通<6702>、新光電工<6967>、小糸製<7276>、大和証G<8601>
 - 【1Q】MonotaRO<3064>
 - 16:00~ ディスコ<6146>、キーエンス<6861>
- 4月26日(金)
 - 11:00~ 豊田織<6201>、デンソー<6902>
 - 15:00~ エムスリー<2413>、キッコーマン<2801>、積水化<4204>、TOTO<5332>、東製鉄<5423>、コマツ<6301>、日立<6501>、三菱電<6503>、ソシオネクスト<6526>、マキタ<6586>、JVCKW<6632>、NEC<6701>、エプソン<6724>、TDK<6762>、アドバンテス<6857>、京セラ<6971>、村田製<6981>、野村<8604>、ANA<9202>、ミスミG<9962>
 - 16:00~ OLC<4661>、日東電工<6988>、豊田通商<8015>、京成<9009>、中部電<9502>
 - 時間未定 アイシン<7259>

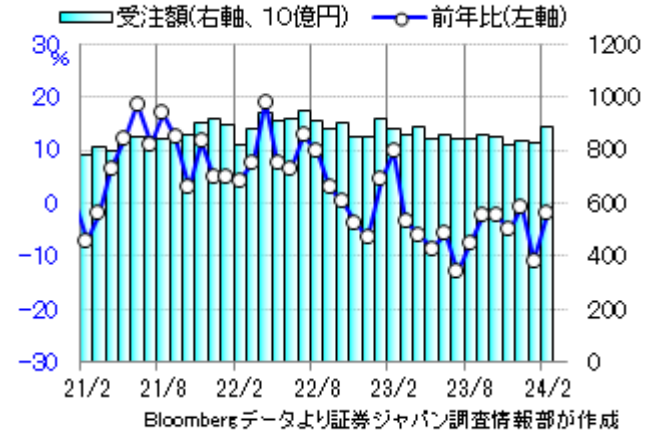
【参考】直近で発表された主な国内経済指標
貿易収支(季調済、兆円)



首都圏マンション販売



機械受注[コア](十億円、前年比:%)



訪日外客数



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

タイムテーブルと決算予定 (予定は変更になる場合がありますので、ご注意ください)

＜海外スケジュール・現地時間＞

4月22日(月)

特になし

4月23日(火)

欧 4月ユーロ圏PMI

米 4月PMI

米 3月新築住宅販売

休場 トルコ(こどもの日)

4月24日(水)

独 4月IFO景況感指数

米 3月耐久財受注

4月25日(木)

米 1~3月期GDP

北京モーターショー(~5月4日)

休場 豪州、NZ(アンザックデー)

4月26日(金)

米 3月個人消費支出(PCE)物価

4月28日(日)

G7気候・エネルギー・環境相会合(~30日、トリノ)

＜海外決算＞

4月22日(月)

ベライゾン

4月23日(火)

ネクステラ・エナジー、フリーポート・マクモラン、RTX、
ロッキード・マーチン、スポティファイ、GE、テスラ、
ハリバートン、GM、エンフェーズ・エナジー、TI、ビザ

4月24日(水)

サーモ・フィッシャー、ボーイング、バイオジェン、
アライン・テクノロジー、サービスナウ、メタ、IBM

4月25日(木)

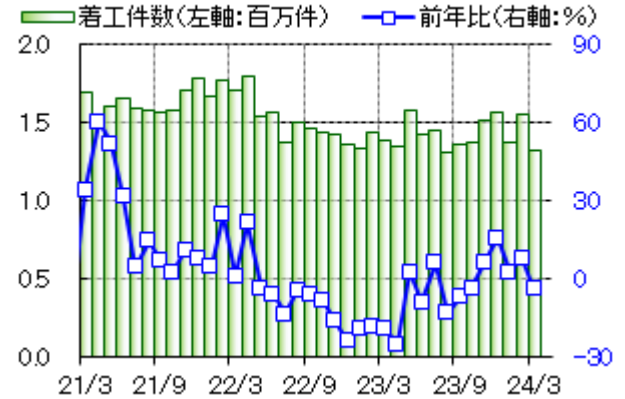
ウエスト・マネジメント、キャタピラー、ニューモント、
ダウ、チェック・ポイント、ナスダック、ハネウエル、メルク、
アーチャー・ダニエルズ、アマゾン、ギリアド、インテル、
アルファベット、マイクロソフト、レスメド、テラドック、ロク

4月26日(金)

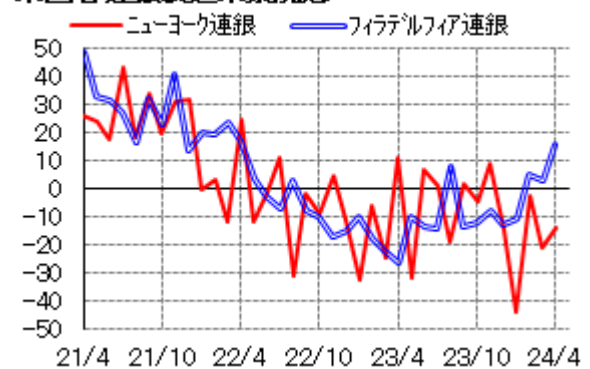
エクソン、ポール、ロックウェル、シエブロン、ピンタレスト

【参考】直近で発表された主な海外経済指標

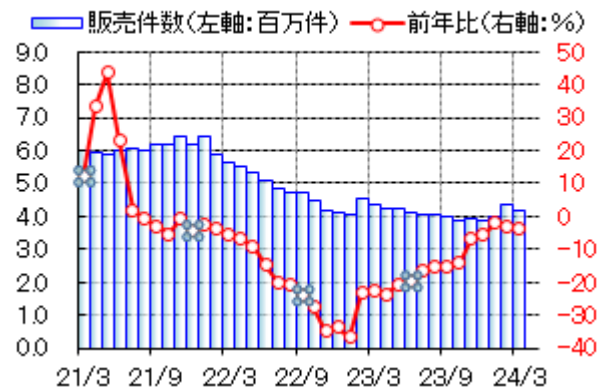
米住宅着工



米国各連銀製造業景況感



米中古住宅販売



独ZEW景気指数



米国景気先行指数前月比(%)

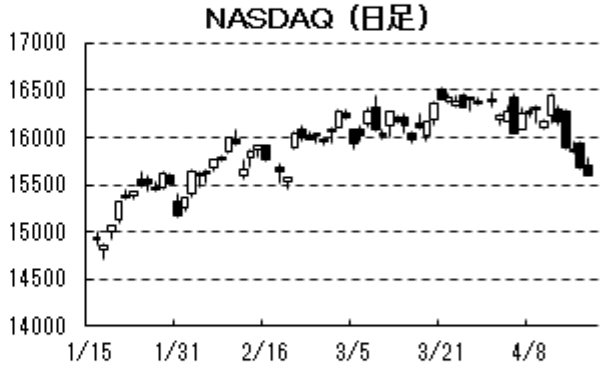
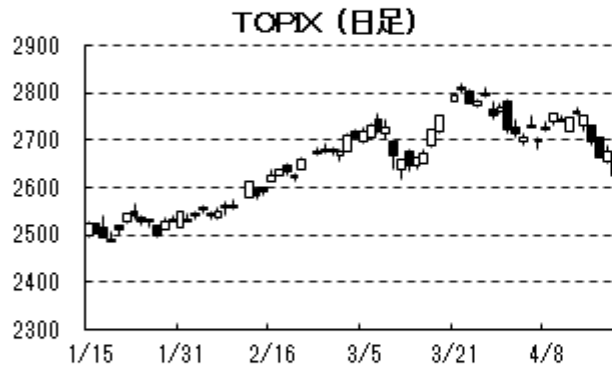


Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成

(東 瑞輝)

各種指数の推移 (Bloomberg データより証券ジャパン調査情報部が作成)

4/19 15:36 現在



最後に重要な注意事項が記載されておりますので、お読みください

投資にあたっての注意事項

【重要開示事項】

- 本資料は、株式会社証券ジャパン（以下「証券ジャパン」といいます。）調査情報部が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 執筆アナリストは、本資料におけるレポート対象企業の有価証券を保有しておらず、重大な利益相反関係にありません。
- 本資料は証券ジャパンが信頼できると考える情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性および完全性について証券ジャパンが保証するものではありません。
- 本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、証券ジャパンは、理由の如何を問わず責任を負いません。
- 本資料に記載された証券ジャパンの意見ならびに予測は、資料作成時点での証券ジャパンの見通しであり今後予告なしに証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツおよび体裁等も証券ジャパンの判断で随時変更することがあります。2024年4月19日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。
- 掲載した企業について株価の下落や発行者の信用状況の悪化等により、投資元本を割り込むおそれがあります。銘柄の選択、投資に関する最終決定はお客様自身の判断でなされるようお願いいたします。
- 本資料は証券ジャパンの著作物であり、著作権法によって保護されております。証券ジャパンの事前の承認なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行所住所等 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-2-18
編集発行責任者 増田 克実
商号等 株式会社証券ジャパン
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第170号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

コンプライアンス推進部審査済 2024年4月19日

『金融商品取引法』に係る重要事項について

■ 国内上場投資信託（ETF）のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」・「為替変動リスク」・「カントリーリスク」・「信用リスク」及び「有価証券の貸付等におけるリスク」があります。基準価額の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面（上場有価証券等書面）』をよくお読みください。

■ 国内上場投資信託（ETF）の手数料など諸経費について

- 国内上場投資信託（ETF）の売買取引には、約定代金に対して最大 1.265%（税込み）（217,392 円以下の場合、2,750 円（税込み））の委託手数料が必要となります。
- 国内上場投資信託（ETF）を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

■ 国内株式のリスク

- リスク要因として「株価変動リスク」と「発行者の信用リスク」があります。株価の下落や発行者の信用状況の悪化などにより、投資元本を割り込むことがあり、損失を被ることがありますので『契約締結前交付書面（上場有価証券等書面）』をよくお読みください。

■ 国内株式の手数料など諸経費について

- 株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.265%（税込み）（217,392 円以下の場合、2,750 円（税込み））の委託手数料が必要となります。
- 株式を募集等により購入する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 保護預かり口座管理料は無料です。

商号等	三津井証券株式会社 金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第14号
加入協会	日本証券業協会
当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券金融商品あっせん相談センター

留意事項

この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり、今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。